



『日本最古の温泉湯宿』
300年以上もの間
人々に愛され、自然に守られてきました

群馬県重要文化財

元禄四年の誕生以来、300年以上旅人を迎え続ける「本館」。現存する日本最古の湯宿建築と言われ、群馬県の重要文化財にも指定されています。長い年月を経て、四季の自然と共に呼吸するかのような佇まいをみせております。



佳松亭の客室

「山荘」と「佳松亭」

その他、昭和十一年建築、当時の和風の粋と技巧を凝らした桃山様式の「山荘」。昔から名高い美しい松林の中に昭和六十一年建築された「佳松亭（かしょうてい）」それぞれに趣の異なる三つの館が歴史の浪漫を語っております。



元禄の湯

近代遺産にも認定された大正浪漫漂うお風呂
最高のお湯をそれぞれのロケーションで

国登録文化財・県近代遺産

レトロな美しさが漂う「元禄の湯」

大正ロマネスクを用い、昭和5年に建てられた「元禄の湯」は広い空間の中にいくつもの湯船を並べたお風呂です。

アーチ型の窓と高い天井が当時の雰囲気そのままだに残っております。お湯はもちろん源泉掛け流しのまま、お楽しみいただいております。



杜の湯

季節の風を感じる「杜の湯」

四季折々の木々の彩りを眺められる大浴場「杜の湯」と露天風呂。自然林に囲まれ共に時を刻んできた積善館ならではの醍醐味です。

この件に関するお問い合わせは
積善館 担当・黒澤までお願いいたします。

TEL(0279)64-2101

FAX(0279)64-2369